



(題字 小黑千足 学長)

第367号
(平成7年7月号)



▲ 平成7年度全国大学保健管理協会東海・北陸地方部会研究集会 (平成7年7月27日(木)、28日(金))

目 次

関係法令	3	◆ 平成7年度全国大学保健管理協会東海・北陸 地方部会研究集会を開催	22
学内規則	3	◆ 平成7年度高等学校と富山大学との入学試験 に関する懇談会を開催	23
諸会議	5	◆ 外国人留学生と指導教官等との懇談会を開催 (経済学部)	23
学 事		◆ (社)日本工学教育協会第43回定時総会・年次大 会を開催	24
◆ 平成7年度科学研究費補助金(補正予算分) の交付決定	7	職 員 消 息	
◆ 平成7年度富山大学国際交流事業基金による 各種事業の採択	7	◆ 住所変更	25
◆ 平成7年度富山大学国際交流後援会事業によ る外国人留学生への宿舎費補助の採択	8	◆ 訃 報	26
◆ 平成8年度富山大学入学者選抜要項を公表	9	主 要 行 事	28
人事異動	19		
学内諸報			
◆ 海外渡航者	20		
◆ 外国人来訪者	21		

関 係 法 令

(省 令)

- 国家公務員等共済組合法施行規則の一部を改正する省令（大蔵54）（平7. 7. 31 官報第1698号）

(規 則)

- 人事院規則16-0（職員の災害補償）の一部を改正する人事院規則（人事院規則16-0-17）（平7. 7. 31 官報第1698号）

(告 示)

- 国家公務員等共済組合法施行規則第105条の4第2項第7号の規定に基づき大蔵大臣が定める医療に関する給付を定める件の一部を改正する件（大蔵171）（平7. 7. 31 官報第1698号）

- 国家公務員等共済組合法施行規則第105条の4第11項第6号の規定に基づき大蔵大臣が定める医療に関する給付を定める件の一部を改正する件（同172）（同上）

- 国家公務員等共済組合法施行規則第105条の4第10項第4号の規定に基づき大蔵大臣が定める医療に関する給付を定める件の一部を改正する件（同173）（同上）

学 内 規 則

富山大学経済学部規則の一部改正について

富山大学経済学部規則の改正理由

富山大学研究生規則、富山大学科目等履修生及び聴講生規則、富山大学学生交流規則の制定に伴い、研究生、科目等履修生、聴講生及び特別聴講学生に係る規定を整理するため、所要事項を改める。

富山大学経済学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成7年7月21日

富山大学長 小 黒 千 足

富山大学経済学部規則の一部を改正する規則

富山大学経済学部規則（昭和50年6月27日制定）の一部を次のように改正する。

第1条中「科目等履修生及び聴講生等」を「研究生及び科目等履修生等」に改める。

第17条から第19条までを次のように改める。

（研究生）

第17条 研究生として入学を志願する者は、次の各号に掲げる書類を提出しなければならない。

- (1) 入学願書
- (2) 履歴書（写真添付）
- (3) 最終出身学校の卒業又は修了証明書
- (4) 健康診断書
- (5) 在職中の者は、所属長の承認書

(科目等履修生)

第18条 科目等履修生として入学を志願する者の提出書類については、前条の規定を準用する。

(聴講生)

第19条 聴講生として入学を志願する者の提出書類については、第17条の規定を準用する。

第20条から第29条までを削り、第30条を第20条とし、同条の次に次の1条を加える。

(雑 則)

第21条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は教授会の議を経て、学部長が別に定める。

附 則

この規則は、平成7年7月21日から施行する。

富山大学理学部規則の一部改正について

富山大学理学部規則の改正理由

富山大学研究生規則、富山大学科目等履修生及び聴講生規則、富山大学学生交流規則の制定に伴い、研究生、科目等履修生、聴講生及び特別聴講学生に係る規定を整理するため、所要事項を改める。

富山大学理学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成7年7月21日

富山大学長 小 黒 千 足

富山大学理学部規則の一部を改正する規則

富山大学理学部規則（昭和52年5月16日制定）の一部を次のように改正する。

第1条中「富山大学学則」を「富山大学学則（以下「学則」という。）」に、「科目等履修生及び聴講生等」を「研究生及び科目等履修生等」に改める。

第16条から第18条までを次のように改める。

(研究生)

第16条 研究生として入学を志願する者は、出願に際し次の各号に掲げる書類を提出しなければならない。

- (1) 入学願書
- (2) 履歴書
- (3) 最終出身学校の卒業又は修了証明書
- (4) 健康診断書
- (5) 職業を有する者は、所属長の承認書

(科目等履修生)

第17条 科目等履修生として入学を志願する者の提出書類については、前条の規定を準用する。

(聴講生)

第18条 聴講生として入学を志願する者の提出書類については、第16条の規定を準用する。

第19条から第22条の2までを削る。

第23条中「学部長」を「学部長」に改め、同条を第19条とする。

附 則

この規則は、平成7年7月21日から施行する。

富山大学工学部規則の一部改正

富山大学工学部規則の改正理由

富山大学研究生規則，富山大学科目等履修生及び聴講生規則，富山大学学生交流規則の制定に伴い，研究生，科目等履修生，聴講生及び特別聴講学生に係る規定を整理するため，所要事項を改める。

富山大学工学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成7年7月21日

富山大学長 小 黒 千 足

富山大学工学部規則の一部を改正する規則

富山大学工学部規則（平成5年4月1日全部改正）の一部を次のように改正する。

第20条から第22条までを次のように改める。

（研究生）

第20条 研究生として入学を志願する者は，出願に際し次の各号に掲げる書類を提出しなければならない。

- (1) 入学願書
- (2) 履歴書
- (3) 最終出身学校の卒業又は修了証明書
- (4) 健康診断書
- (5) 職業を有する者は，所属長の承諾書

（科目等履修生）

第21条 科目等履修生として入学を志願する者の提出書類については，前条の規定を準用する。

（聴講生）

第22条 聴講生として入学を志願する者の提出書類については，第20条の規定を準用する。

第23条から第26条までを削り，第27条を第23条とする。

附 則

この規則は，平成7年7月21日から施行する。



第1回学園ニュース編集委員会（7月6日）

（審議事項）

- (1) 今後の編集方針（改善点）について
- (2) コーディネーターの決定について
- (3) 富山大学学園ニュース第88号の編集について
- (4) その他

第1回国際交流委員会（7月7日）

（審議事項）

- (1) 平成6年度富山大学国際交流事業基金決算（案）について

(2) 平成7年度富山大学国際交流事業基金予算（案）について

(3) 平成7年度富山大学国際交流事業基金第2種外国人研究者の招き事業（A）（遼寧大学）の選考について

(4) 平成7年度富山大学国際交流事業基金第3種（外国人留学生への奨学事業）の選考について

(5) 平成7年度富山大学国際交流後援会事業（外国人留学生への宿舍費補助）の選考について

(6) その他

第1回保健管理センター運営委員会（7月18日）

(3) その他

（審議事項）

- (1) 平成7年度保健管理センター運営費予算（案）について
- (2) 平成7年度保健管理センター業務計画（案）について
- (3) その他

第2回廃液処理施設運営委員会（7月19日）

（議 題）

- (1) 平成7年度廃液処理施設運営費執行計画（案）について
- (2) その他

第3回施設整備委員会（7月20日）

（審議事項）

- (1) 五福キャンパスゾーニングプランについて

第3回附属図書館商議会（7月20日）

（審議事項）

- (1) 学生用図書購入費について
- (2) その他

第2回教養教育委員会（持ち回り）（7月20日）

（審議事項）

- (1) 平成7年度非常勤講師任用計画の一部変更及び資格審査について

第4回部局長懇談会（7月21日）

（議 題）

- (1) 当面の諸問題について
- (2) その他

第4回評議会（7月21日）

（審議事項）

- (1) 富山大学経済学部規則の一部改正について
- (2) 富山大学理学部規則の一部改正について
- (3) 富山大学工学部規則の一部改正について
- (4) その他

第3回学生生活協議会（7月24日）

（審議事項）

- (1) 学生生活協議会文化部会第1号委員（部会長）の選出について
- (2) 平成5年度自己点検評価報告書における「改善を必要とする重点項目」の検討について

第3回情報処理センター運営委員会（7月24日）

（議 題）

- (1) 平成6年度決算及び平成7年度予算について
- (2) ATMネットワークシステムについて
- (3) その他

第4回国際交流委員会留学生部会（7月25日）

（議 事）

- (1) 日本留学フェアについて
- (2) 短期留学生の受入れについて
- (3) 平成5年度自己点検評価報告書における「改善を必要とする重点項目」の検討について
 - ① 留学生の受入れ方針の合意と成文化、受入れ体制の質的充実等の改善方策について
 - ② 国際交流事業基金について
 - ③ 平成5年度報告書における指摘事項（①②を除く）について
- (4) その他

第1回公開講座委員会（7月27日）

（議 題）

- (1) 放送利用の大学公開講座の参加について
- (2) その他

第2回年史編纂委員会（7月27日）

（議 題）

- (1) 年史編纂について
- (2) その他

第3回入学試験委員会（7月28日）

（審議事項）

- (1) 平成8年度富山大学学生募集要項（案）について
- (2) 富山大学入学者選抜健康診断判定基準について



平成7年度科学研究費補助金（補正予算分）交付決定者一覧

研究種目	研究代表者			研究課題	交付決定額 (千円)	交付予定額 (千円)	
	所属	職	氏名		平成7年度	平成8年度	平成9年度
試験研究(B)(1)	工学部	教授	小泉 邦雄	自励オンオフ駆動制御理論を用いた多機能微小精密加工機の開発	5,600	1,600	

平成7年度富山大学国際交流事業基金による各種事業の採択

○ 第2種外国人研究者の招へい事業(A) (遼寧大学)

受入れ教官			招へい期間	招へい研究者		研究課題
部局	氏名	職名		氏名	所属・職名	
理学部	松本 賢一	教授	平成7年9月～11月	辛 宗 政	物理系・教授	量子物理学の基礎的先端的諸問題

○ 第3種外国人留学生への奨学事業

フリガナ氏名	性別	国籍	学籍番号	所属	学年
オウ レイカ 翁 麗霞	女	中国	7-2906	教育学研究科 学校教育専攻	1
ブン シン 文 晨	女	中国	7-2922	教育学研究科 学校教育専攻	1
セン エン 銭 燕	女	中国	7-5860	工学研究科(前期) 電子情報工学専攻	1
リュウ サンライ 劉 善来	男	マレーシア	5-5307	工学部機械システム工学科	3
ショウ ホウ 肖 放	男	中国	6-1076	人文学部人文学科	2
リ ジェン 李 晴	男	中国	6-2644	教育学部情報教育学科	2
チャン キョモイ CHAN KIUK MOI	女	マレーシア	6-3330	経済学部経営学科	2
ト ウホウ 杜 宇峰	男	中国	6-5143	工学部電子情報工学科	2

フリガナ 氏名	性別	国籍	学籍番号	所属	学年
ラン ウン イ 藍 云 蔚	男	中国	6-5145	工学部電子情報工学科	2
ガン テック ヨウ GAN TECK YEOW	男	マレーシア	6-5305	工学部機械システム工学科	2
ロ フク ショウ 呂 福 昇	男	中国		人文学部研究生	
シン リュウ コク 申 龍 国	男	中国		工学部研究生	

平成7年度富山大学国際交流後援会事業（外国人留学生への宿舍費補助）の採択

フリガナ 氏名	性別	国籍	学籍番号	所属	学年
カク リッシン 郭 立 新	男	中国	7-5983	工学研究科（後期） システム生産工学専攻	1
カク メイキ 郭 明 輝	男	中国	6-1613	人文科学研究科 日本・東洋文化専攻	2
ソン シホウ 孫 志 方	男	中国	6-5861	工学研究科（前期） 電子情報工学専攻	2
コ ホウ 胡 澎	女	中国	7-1617	人文科学研究科 日本・東洋文化専攻	1
シュ ショウ 朱 松	男	中国	7-5859	工学研究科（前期） 電子情報工学専攻	1
ヨウ ケン 楊 健	男	中国	7-5973	工学研究科（前期） 化学生物工学専攻	1
チョウ ヨウ 張 楊	男	中国	7-1488	人文学部言語文化学科	1
ナ ケン 那 昕	男	中国	7-1489	人文学部言語文化学科	1
オウ タン 王 丹	女	中国	7-3157	経済学部経済学科	1
コウ ケン 黄 瑾	女	中国	7-3325	経済学部経営学科	1

平成8年度 富山大学入学者選抜要項の公表

平成8年度入学者選抜要項を去る7月11日（火）に発表しました。昨年度との変更点及び入学者選抜要項の概要は、以下のとおりです。

昨年度との変更点

1 一般選抜について

(1) 実施方式及び実施日程について

全学部が分離分割方式で実施（変更なし）。日程は、国大協の平成8年度実施要領に基づく変更で、年月日（曜）の変更が主である。

- ① 出願期間：平成8年1月22日(月)～1月31日(木)
[昨年度 1/23(月)～2/1(木)]
- ② 検査期日：前期日程 平成8年2月25日(日)
[昨年度 2/25(土)]
後期日程 平成8年3月11日(月)
[昨年度 3/11(土)]
- ③ 合格発表：前期日程 平成8年3月6日(木)の予定
[昨年度 3/6(月)]
後期日程 平成8年3月21日(木)の予定
[昨年度 3/21(火)]
- ④ 入学手続：前期日程 平成8年3月12日(火)、13日(木)の予定
[昨年度 3/13(月)、14日(火)]
後期日程 平成8年3月27日(木)の予定
[昨年度 3/27(月)]

(2) 募集人員について

- ① 前期日程 975人、後期日程 321人、特別選抜 196人、計1,492人とした。
[昨年度の確定募集人員 前期 980人、後期 321人、特別選抜 191人、計1,492人]
- ② 人文、理、工学部における臨時増募の減（各10人、計30人の減）に伴う変更の他、各選抜単位毎に募集人員を整理。（「…は前期日程に含まれる。」という表示を取りやめた。）
- ③ 入学者選抜方法等について
一般選抜の一部として、専門高校卒業生選抜が導入されたことに伴い、様式を改めた。
（定員一部留保第2次募集の欄が変更された。）
- ④ 入学者選抜実施教科・科目等について

- ① 人文学部：前期日程で外国語の選択科目を拡大

（フランス語を追加。英、独、朝、中、ロ、フから1）

後期日程で小論文（配点100点）を新規実施

- ② 教育学部：実技検査の内容（課題曲、楽器、種目等）を一部変更
- ③ 経済学部：変更なし
- ④ 理学部：生物圏環境科学科の後期日程で大学入試センター試験「理科」の選択幅を拡大
（「化学必須」から「化学、生物から1」に変更）
- ⑤ 工学部：変更なし

2 特別選抜について

(1) 実施日程について

- ① 出願期間：平成7年11月6日(月)～10日(金)
[昨年度 11/7(月)～11(金)]
人文学部推薦入学（センター試験を課す）は、平成7年12月12日(火)～18日(月)
[昨年度 12/12(月)～16(金)]
- ② 検査期日：平成7年11月29日(木)
[昨年度 11/30(木)]
人文学部推薦入学（センター試験を課す）は、平成8年1月17日(木)
[昨年度 1/18(木)]
- ③ 合格発表：平成7年12月7日(木)の予定
[昨年度 12/8(木)]
人文学部推薦入学（センター試験を課す）は、平成8年2月8日(木)の予定
[昨年度 2/9(木)]
- ④ 入学手続：平成8年2月15日(木)の予定
[昨年度 2/15(木)]

(2) 入学者選抜方法等について

- ① 人文学部：帰国子女特別選抜で外国語を新規実施
(英, 独, 朝, 中, ロ, フから1)
社会人特別選抜で外国語の選択幅を拡大
(フランス語を追加。英, 独, 朝, 中, ロ, フから1)
- ② 教育学部：中学校教員養成課程美術専攻志願者の提出書類の表記を整理
推薦書 (美術担当教諭の所見を含む。) とし, () 書を追加した。
- ③ 経済学部：「夜間主コース」推薦入学の推薦要件「就職内定者」を「就職予定者」に変更した。
- ④ 理学部：数学科の推薦入学募集人員を1人減
(定員の30%以内とするため)
物理学科が推薦入学を新規実施
(募集人員6人。小論文, 面接により選抜)
- ⑤ 工学部：変更なし

(3) その他

平成9年度入試から, 経済学部「昼間主コース」が職業科以外の学科の卒業予定者を対象とした推薦入学を実施予定である旨予告した。

3 私費外国人留学生選抜について

(1) 実施日程について (一般選抜前期日程と同一日程で実施する。)

① 出願期間：平成8年1月22日(月)～1月31日(水)
[昨年度 1/23(月)～2/1(水)]

② 検査期日：平成8年2月25日(日)
[昨年度 2/25(土)]

③ 合格発表：平成8年3月6日(水)の予定
[昨年度 3/6(月)]

④ 入学手続：平成8年3月12日(火), 13日(水)の予定
[昨年度 3/13(月), 14日(火)]

(2) 入学者選抜実施教科・科目等について

理学部地球科学科及び生物圏環境科学科で個別学力検査等を「面接」のみとした。

他の学部・学科等に変更なし。

平成8年度 富山大学入学者選抜要項（抜粋）

1. 学部・学科・課程等及び入学定員

学部	学科・課程等		入学定員	一般選抜募集人員		特別選抜募集人員			備 考
				前期日程	後期日程	推薦入学	帰国子女特別選抜	社会人特別選抜	
人文学部	人文学科		70	49	15	6	若干名	若干名	
	国際文化学科		40	26	10	4	若干名	若干名	
	言語文化学科		85	57	20	8	若干名	若干名	
	計		195	132	45	18	若干名	若干名	
教育学部	小学校教員養成課程		100	70	30				
	中学校教員養成課程		50	24	12	14			推薦入学は、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭及び技術専攻各2人の合計14人募集
	養護学校教員養成課程		20	14	6				
	幼稚園教員養成課程		30	21	9				
	情報教育課程	教育情報コース	24	12	6	6			
		環境情報コース	16	8	4	4			
		小計	40	20	10	10			
計		240	149	67	24				
経済学部	昼間主コース	経済学科	155	112	31	12	若干名		
		経営学科	120	86	24	10	若干名		
		経営法学科	100	72	20	8	若干名		
		小計	375	270	75	30	若干名		
	夜間主コース	経済学科	20	2	4	7		7	
		経営学科	20	2	5	7		6	
		経営法学科	20	2	5	6		7	
		小計	60	6	14	20		20	
計		435	276	89	50	若干名	20		
理学部	数学科		52	30	7	15	若干名		
	物理学科		42	27	9	6	若干名	若干名	
	化学科		38	30	8		若干名	若干名	
	生物学科		38	32	6		若干名	若干名	
	地球科学科		30	25	5		若干名	若干名	
	生物圏環境科学科		30	20	5	5	若干名	若干名	
	計		230	164	40	26	若干名	若干名	
工学部	電子情報工学科		132	86	27	19			
	機械システム工学科		101	65	21	15			
	物質工学科		80	52	16	12			
	化学生物工学科		79	51	16	12			
	計		392	254	80	58			
合 計			1,492	975	321	176	若干名	20	

2. 平成8年度富山大学入学者選抜方法等

(1) 一般選抜（前期日程）

選抜方法等 学部・学科名		個別学力検査等						専門高校卒業生選抜				個別 学力 検査 等 の 日 程	備 考 (欠員の補充の方法等)		
		個別 学力 検査 を 課 す る	実技検査等			2 段 階 選 抜			個別 学力 検査 を 課 す る	実技検査等				募 集 人 員	
			実 技 検 査 を 課 す る	面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す る	主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数	そ の 他		実 技 検 査 を 課 す る	面 接 を 行 う				小 論 文 を 課 す る
人文学部	人文学科													2 月 25 日 (日)	欠員補充の方法等は、9月下旬頃に発表予定の学生募集要項に記載する。
	国際文化学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	言語文化学科														
教育学部	小学校教員養成課程														
	中学校教員養成課程 (国語, 社会, 数学, 理科, 家庭, 技術, 英語専攻)	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	養護学校教員養成課程														
	幼稚園教員養成課程														
	情報教育課程														
	中学校教員養成課程 (音楽, 美術, 保健体育専攻)	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
経済学部	昼間主コース														
	経済学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	経営学科														
	経営法学科														
	夜間主コース	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	経営法学科														
理学部	数学科														
	物理学科														
	化学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	生物学科														
	地球科学科														
	生物圏環境科学科														
工学部	電子情報工学科														
	機械システム工学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	物質工学科														
	化学生物工学科														

参考 1. 調査書に㊸標示を希望する。(入学者選抜方法の研究資料として利用するため。)
2. 個別学力検査等の日程は、分離・分割方式前期日程である。

(2) 一般選抜（後期日程）

学部・学科名		選抜方法等		個別学力検査等						専門高校卒業生選抜				個別学力検査等の日程	備考 (欠員の補充の方法等)	
		個別学力検査を課する	実技検査等			2段階選抜			個別学力検査を課する	実技検査等			募集人員			
			面接を行う	小論文を課する	主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数	その他	実技検査を課する		面接を行う	小論文を課する					
人文学部	人文学科													3 月 11 日 (月)	欠員補充の方法等は、9月下旬頃に発表予定の学生募集要項に記載する。	
	国際文化学科	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×			
	言語文化学科															
教育学部	小学校教員養成課程															
	養護学校教員養成課程	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	幼稚園教員養成課程															
	中学校教員養成課程	国語、英語専攻	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			×
		社会、数学、家庭、技術専攻	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×			×
		理科専攻	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×			×
		音楽、美術、保健体育専攻	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×			×
情報教育課程	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×				
経済学部	昼間主コース	経済学科														
		経営学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
		経営法学科														
	夜間主コース	経済学科														
		経営学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
		経営法学科														
理学部	数学科															
	生物学科	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	生物圏環境科学科															
	物理学科	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×			
	化学科															
工学部	地球科学科	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	電子情報工学科															
	機械システム工学科	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	物質工学科															
化学生物工学科	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×				

参考 1. 調査書にⒶ標示を希望する。(入学者選抜方法の研究資料として利用するため。)
 2. 個別学力検査等の日程は、分離・分割方式後期日程である。

(3) 特別選抜

学部・学科名	選抜方法等	推 薦 入 学						帰国子女、社 会人等のた めの特別選 抜			備 考	
		入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、 学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する						推 薦 入 学 募 集 人 員	帰 国 子 女	中 国 引 揚 者 等 子 女		社 会 人
		個別学力検査を免除し、 大学入試センター試験を課する	個別学力検査及び大学 入試センター試験を免除 する	実 技 検 査 等								
実 技 検 査 を 課 す る	面 接 を 行 う			小 論 文 を 課 す る	そ の 他							
人文学部	人文学科						6人					
	国際文化学科	○	×	×	×	○	×	4人	○	×		○
	言語文化学科						8人					
教育学部	小学校教員養成課程											中学校教員養成課程（数学専攻）推薦 入学について 面接には、基礎学力に関する試問を含 む。
	養護学校教員養成課程	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	幼稚園教員養成課程											
	中学校教員養成課程	国語、社会、英語専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		数学専攻						2人				
		理科専攻						2人				
		家庭専攻	×	○	×	○	○	×	×	×	×	
		技術専攻						2人				
		音楽専攻						2人				
	課程情報	美術専攻	×	○	○	○	×	×	2人	×	×	
保健体育専攻							2人					
経済学部	教育情報コース	×	○	×	×	○	×	6人	×	×	×	
	環境情報コース						4人					
	昼間 主コース	経済学科						12人				
		経営学科	×	○	×	○	○	×	10人	○	×	×
		経営法学科						8人				
	夜間 主コース	経済学科						7人				
経営学科		×	○	×	○	○	×	7人	×	×	○	
経営法学科							6人					
理学部	数 学 科	×	○	×	○	×	×	15人	○	×	×	数学科推薦入学について 面接には、数学的思考力をみるための 試問を含む。
	物 理 学 科	×	○	×	○	○	×	6人	○	×	○	
	化 学 科											
	生 物 学 科	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	
	地 球 学 科											
工学部	生物圏環境科学科	×	○	×	○	○	×	5人	○	×	○	
	電子情報工学科							13人				
								6人				
	機械システム工学科							10人				
								5人				
物質工学科	×	○	×	○	○	×	8人	×	×	×		
工学部	化学生物工学科							4人				
								8人				
							4人					

参考 1. 調査書に㊸標示を希望する。（入学者選抜方法の研究資料として利用するため。）

3. 平成8年度富山大学入学者選抜の実施教科・科目等

(1) 前期日程

入学志願者に解答させる 教科・科目名等		選抜の対象	大学入試センター試験で入学志願者に 解答させる教科・科目名	個別学力検査等の教科・科目等	大学入試センター試験の 利用方法	その他			
学部(学科,課程,専攻等)名									
人文学部	人文学科	前期日程に係る 一般選抜の全部	5教科5科目 国 社〔倫,日,世,地理,現社から1〕(注1) 数〔数I〕 理〔物,化,生,地学,理Iから1〕(注3) 外〔英,独,仏から1〕	国(国語I,国語II) 外〔英語II,英語IIB〕,ドイツ語,朝鮮語,中国語,ロシア語, フランス語から1)					
	国際文化学科								
	言語文化学科								
教育学部	小学校教員養成課程 中学校教員養成課程 (国語,社会,数学,理科,家庭, 技術,英語専攻) 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程 情報教育課程 (教育情報コース,環境情報コース) 中学校教員養成課程 (音楽,美術,保健体育専攻)	前期日程に係る 一般選抜の全部	5教科6科目 国 社〔倫,日,世,地理,現社から1〕(注1) 数〔「数I」と「数II,工,簿から1」〕(注2) 理〔物,化,生,地学,理Iから1〕(注3) 外〔英,独,仏から1〕	国(国語I,国語II), 数(代数・幾何,基礎解析), 外(英語II,英語IIB)から1					
	中学校教員 養成課程						推薦入学 (入学定員50人中 各専攻2人)	課さない	小論文(数学に関するもの。) 面接(基礎学力に関する試問を含む。) 小論文 面接 実技 面接
	情報教育課								
経済学部	昼間主 コース	前期日程に係る 一般選抜の全部	5教科6科目 国 社〔倫,日,世,地理,現社から1〕(注1) 数〔「数I」と「数II,工,簿から1」〕(注2) 理〔物,化,生,地学,理Iから1〕(注3) 外〔英,独,仏から1〕	数(代数・幾何,基礎解析)又は外〔「英語II,英語IIB」, ドイツ語から1〕					
	夜間主 コース						推薦入学 (入学定員155人中12人) 推薦入学 (入学定員120人中10人) 推薦入学 (入学定員100人中8人) 推薦入学 (入学定員20人中7人) 推薦入学 (入学定員20人中7人) 推薦入学 (入学定員20人中6人)	課さない	小論文 面接
	昼間主 コース								
経済学部	夜間主 コース	前期日程に係る 一般選抜の全部	5教科6科目 国 社〔倫,日,世,地理,現社から1〕(注1) 数〔「数I」と「数II,工,簿から1」〕(注2) 理〔物,化,生,地学,理Iから1〕(注3) 外〔英,独,仏から1〕	数(代数・幾何,基礎解析)又は外〔「英語II,英語IIB」, ドイツ語から1〕					
	昼間主 コース						推薦入学 (入学定員155人中12人) 推薦入学 (入学定員120人中10人) 推薦入学 (入学定員100人中8人) 推薦入学 (入学定員20人中7人) 推薦入学 (入学定員20人中7人) 推薦入学 (入学定員20人中6人)	課さない	小論文 面接
	夜間主 コース								

注1. 「現代社会」を選択解答できる者は,高等学校の普通科・理数科の卒業(見込み)者以外に限る。

注2. 「工業数理」又は「簿記会計I,簿記会計II」を選択解答できる者は,高等学校において「工業数理」又は「簿記会計I,簿記会計II」を履修した者及び文部大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)者に限る。

注3. 「理科I」を選択解答できる者は,高等学校の普通科・理数科の卒業(見込み)者以外に限る。

注4. 大学入試センター試験の「理科」について,複数科目を受験している場合は高得点の科目を利用する。

注5. 個別学力検査等の日程は,分離・分割方式前期日程である。

入学志願者に解答させる 教科・科目名等		選 抜 の 対 象	大学入試センター試験で入学志願者に 解 答 さ せ る 教 科 ・ 科 目 名	個 別 学 力 検 査 等 の 教 科 ・ 科 目 等	大学入試センター試験の 利 用 方 法	そ の 他
学部(学科,課程,専攻等)名						
理 学 部	数 学 科	前期日程に係る	4教科5科目 国 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ」〕 理〔物,化,生,地学から1〕 外〔英,独,仏から1〕	数(代数・幾何,基礎解析,微分・積分,確率・統計(統計は除く。))	1. 大学入試センター試験と個別学力検査の配点は,本要項の5(16ページ)を参照すること。 2. 大学入試センター試験の「理科」については,(注4)を参照すること。	
	化 学 科			数(代数・幾何,基礎解析) 理(化学)		
	生 物 学 科			数(代数・幾何,基礎解析) 理(物理,化学,生物,地学から1)		
	地 球 科 学 科			数(代数・幾何,基礎解析)又は外(英語Ⅱ,英語ⅡB) 理(物理,化学,生物,地学から1)		
	生 物 圏 環 境 科 学 科	一般選抜の全部	数(代数・幾何,基礎解析) 理(化学,生物から1)			
	物 理 学 科	5教科6科目 国 社〔倫,日,世,地理,現社から1〕(注1) 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ」〕 理〔物,化,生,地学から1〕 外〔英,独,仏から1〕	数(代数・幾何,基礎解析) 理(物理)			
	数 学 科	推 薦 入 学 (入学定員 52人中 15人)	課 さ ない	面 接(数学的思考力をみるための試問を含む。)		
	物 理 学 科	推 薦 入 学 (入学定員 42人中 6人)		小論文(物理学的思考力を問う内容を含む。) 面 接		
	生 物 圏 環 境 科 学 科	推 薦 入 学 (入学定員 30人中 5人)		小論文(科学的な思考力を問う内容を含む。) 面 接		
	工 学 部	電 子 情 報 工 学 科	前期日程に係る 一般選抜の全部	4教科5科目 国 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ,工,簿から1」〕(注2) 理〔物,化,生,地学,理Ⅰから1〕(注3) 外〔英,独,仏から1〕		
機 械 シ ス テ ム 工 学 科		数(代数・幾何,基礎解析) 理(物理,化学から1)				
物 質 工 学 科						
化 学 生 物 工 学 科						
電 子 情 報 工 学 科		推 薦 入 学 (入学定員132人中 19人)	課 さ ない	小論文		
機 械 シ ス テ ム 工 学 科		推 薦 入 学 (入学定員101人中 15人)		面 接(基礎学力に関する試問を含む。)		
物 質 工 学 科		推 薦 入 学 (入学定員 80人中 12人)				
化 学 生 物 工 学 科	推 薦 入 学 (入学定員 79人中 12人)					

注1. 「現代社会」を選択解答できる者は,高等学校の普通科・理数科の卒業(見込み)者以外に限る。

注2. 「工業数理」又は「簿記会計Ⅰ,簿記会計Ⅱ」を選択解答できる者は,高等学校において「工業数理」又は「簿記会計Ⅰ,簿記会計Ⅱ」を履修した者及び文部大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)者に限る。

注3. 「理科Ⅰ」を選択解答できる者は,高等学校の普通科・理数科の卒業(見込み)者以外に限る。

注4. 大学入試センター試験の「理科」について,複数科目を受験している場合は高得点の科目を利用する。

注5. 個別学力検査等の日程は,分離・分割方式前期日程である。

(2) 後期日程

入学志願者に解答させる 教科・科目名等		選抜の対象	大学入試センター試験で入学志願者に 解答させる教科・科目名	個別学力検査等の教科・科目等	大学入試センター試験の 利用方法	その他	
学部(学科,課程,専攻等)名							
人文学部	人文学科	後期日程に係る 一般選抜の全部	5教科5科目 国社〔倫,日,世,地理,現社から1〕(注1) 数〔数I〕 理〔物,化,生,地学,理Iから1〕(注3) 外〔英,独,仏から1〕	小論文			
	国際文化学科 言語文化学科						
教育学部	小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程	後期日程に係る 一般選抜の全部	5教科6科目 国社〔倫,日,世,地理,現社から1〕(注1) 数〔「数I」と「数II,工,簿から1」〕(注2) 理〔物,化,生,地学,理Iから1〕(注3) 外〔英,独,仏から1〕	実技(音楽,美術,体育から1)	1. 大学入試センター試験と個別学力検査の配点は,本要項の5(17ページ)を参照すること。 2. 大学入試センター試験の「理科」については,(注5)を参照すること。	教育学部の実技検査の内容については,本要項4(15ページ)を参照すること。	
	情報教育課程 教育情報コース 環境情報コース			小論文			
	国語専攻			3教科3科目 国社〔倫,日,世,地理,現社から1〕(注1) 外〔英,独,仏から1〕			国(国語I,国語II) 小論文
	社会専攻						
	英語専攻						外(英語II)
	中学校数学専攻			3教科4科目 国数〔「数I」と「数II,工,簿から1」〕(注2) 外〔英,独,仏から1〕			小論文
	理科専攻			3教科4科目 数〔「数I」と「数II,工,簿から1」〕(注2) 理〔物,化,生,地学,理Iから1〕(注3) 外〔英,独,仏から1〕			小論文 面接 小論文
	家庭専攻						
	技術専攻			3教科4科目 国数〔「数I」と「数II,工,簿から1」〕(注2) 理〔物,化,生,地学,理Iから1〕(注3)			小論文
	音楽,美術,保健体育専攻			2教科2科目 国 外〔英,独,仏から1〕			志望専攻の実技
経済学部	昼間主 コース 経済学科 経営学科 経営法学科	後期日程に係る 一般選抜の全部	3教科3科目 国社〔倫,日,世,地理,現社から1〕(注1)から1 数〔数I〕(注4) 外〔英,独,仏から1〕	外(英語II,英語IIB)〔英語読解力〕			
	夜間主 コース 経済学科 経営学科 経営法学科						

注1. 「現代社会」を選択解答できる者は,高等学校の普通科・理数科の卒業(見込み)者以外に限る。

注2. 「工業数理」又は「簿記会計I,簿記会計II」を選択解答できる者は,高等学校において「工業数理」又は「簿記会計I,簿記会計II」を履修した者及び文部大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)者に限る。

注3. 「理科I」を選択解答できる者は,高等学校の普通科・理数科の卒業(見込み)者以外に限る。

注4. 経済学部「昼間主コース」の後期日程における大学入試センター試験の「社会」及び「数学」の両教科を受験している場合は,高得点の教科を利用する。

注5. 大学入試センター試験の「理科」について,複数科目を受験している場合は高得点の科目を利用する。

注6. 個別学力検査等の日程は,分離・分割方式後期日程である。

入学志願者に解答させる 教科・科目名等		選 抜 の 対 象	大学入試センター試験で入学志願者に 解答させる教科・科目名	個 別 学 力 検 査 等 の 教 科 ・ 科 目 等	大学入試センター試験の 利 用 方 法	そ の 他
学部(学科,課程,専攻等)名						
理 学 部	数 学 科	後 期 日 程 に 係 る 一 般 選 抜 の 全 部	4教科5科目 国 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ」〕 理〔物,化,生,地学から1〕 外〔英,独,仏から1〕	面 接 (数学的な内容を含む。)	1. 大学入試センター試験と個別学力検査の配点は,本要項の5(17ページ)を参照すること。 2. 大学入試センター試験の「理科」については,(注4)を参照すること。	
	物 理 学 科		5教科6科目 国 社〔倫,日,世,地理,現社から1〕(注1) 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ」〕 理〔物〕 外〔英,独,仏から1〕	小論文(物理に関するもの。)		
	化 学 科		3教科4科目 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ」〕 理〔物,化,生,地学から1〕 外〔英,独,仏から1〕	小論文(化学に関するもの。)		
	生 物 学 科		4教科5科目 国 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ」〕 理〔物,化,生から1〕 外〔英,独,仏から1〕	面 接 (生物に関する内容を含む。)		
	地 球 科 子 科		2教科3科目 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ」〕 理〔地学〕	課さない		
	生 物 圏 環 境 科 学 科		3教科4科目 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ」〕 理〔化,生から1〕 外〔英,独,仏から1〕	面 接 (科学的な思考力を問う内容を含む。)		
工 学 部	電 子 情 報 工 学 科	後 期 日 程 に 係 る 一 般 選 抜 の 全 部	4教科5科目 国 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ,工,簿から1」〕(注2) 理〔物,化,生,地学,理Ⅰから1〕(注3) 外〔英,独,仏から1〕	課さない		
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科					
	物 質 工 学 科					
化 学 生 物 工 学 科			面 接 (化学的な内容を含む。)			

注1. 「現代社会」を選択解答できる者は,高等学校の普通科・理数科の卒業(見込み)者以外に限る。

注2. 「工業数理」又は「簿記会計Ⅰ,簿記会計Ⅱ」を選択解答できる者は,高等学校において「工業数理」又は「簿記会計Ⅰ,簿記会計Ⅱ」を履修した者及び文部大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)者に限る。

注3. 「理科Ⅰ」を選択解答できる者は,高等学校の普通科・理数科の卒業(見込み)者以外に限る。

注4. 大学入試センター試験の「理科」について,複数科目を受験している場合は高得点の科目を利用する。

注5. 個別学力検査等の日程は,分離・分割方式後期日程である。

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
採 用	7. 7. 4	室 谷 智		技術補佐員（経理部主計課）
	”	柴 田 元 衛		” （ ” ）
	”	水 卷 純 一		” （ ” ）
	7. 7. 5	荒 井 柳 三		技能補佐員（施設課機械操作手）
	”	太 田 と き え		事務補佐員（教育学部）
	”	福 村 一 男		臨時用務員（教育学部作業員）
	”	浜 井 幸 作		” （ ” ）
	”	竹 井 公 子		” （ ” ）
	”	福 島 春 代		” （ ” ）
	7. 8. 1	和 田 直 也		助 手（理学部）
臨時的任用 の更新	7. 7. 14	坪 井 英 子	教 諭（教育学部附属養護学校）	臨時的任用を更新する（～7. 9. 7）
	7. 7. 27	梅 澤 里 香	教 諭（教育学部附属幼稚園）	” （～7. 9. 19）
併 任	7. 8. 1	吉 原 節 夫	教 授（経済学部）	評議員（～9. 7. 31）
	”	中 藤 康 俊	” （ ” ）	評議員（～9. 7. 31）
退 職	7. 7. 27	林 敏 和	事務補佐員（附属図書館情報サービス課）	平成7年7月26日限り退職した
	”	青 山 拓 也	” （ ” ）	”
	”	大久保 英	” （ ” ）	”
	”	岩 城 時代美	” （ ” ）	”
	”	西 村 憲 一	” （ ” ）	”
	”	近 藤 俊 彦	” （ ” ）	”
	7. 8. 1	室 谷 智	技術補佐員（経理部主計課）	平成7年7月31日限り退職した
	”	柴 田 元 衛	” （ ” ）	”
”	水 卷 純 一	” （ ” ）	”	
死 亡	7. 7. 11	田 上 修 一	教 諭（教育学部附属小学校）	死 亡（公務外）

学 内 諸 報

海 外 渡 航 者

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外国出張	理学部	教授	川崎 一 朗	アメリカ合衆国	第21回国際測地学・地球物理学連 合総会に出席，研究発表及びマサ チューセッツ工科大学において研 究打合せ	7. 7. 9 } 7. 7.23
	経済学部	教授	菊田 健 作	アメリカ合衆国	重み付けられたグラフ上の探索ゲー ムとその応用に関する共同研究打 合せ	7. 7.10 } 7. 7.21
	人文学部	助教授	一ノ瀬 恵	ロ シ ア	「環北太平洋の危機に瀕した原住 民言語に関する緊急調査」に係る 資料収集，現地調査	7. 7.21 } 7. 9. 9
	〃	教授	神徳 昭 甫	連 合 王 国 フ ラ ン ス イ タ リ ア	「ナサニエル・ホーソーンのヨー ロッパにおける足跡及びダンテ文 学との比較」に関する研究	7. 7.23 } 7. 9.23
	理学部	教授	山田 恭 司	アメリカ合衆国	アパラチア山脈の南西部における 寄生植物の調査・研究	7. 7.30 } 7. 9.20
	工学部	教授	森田 弘 之	大 韓 民 国	第4回ヘテロ原子化学国際学会に 出席，研究発表及び有機イオウ化 学に関する研究打合せ	7. 7.31 } 7. 8. 7
海外研修	工学部	助手	島田 邦 雄	ド イ ツ チェコスロバキア	知能流体の研究に関する情報収集 及び研究打合せ，JCS合同セミ ナー参加	7. 7. 2 } 7. 7. 9
	教育学部	助教授	西川 友 之	マ レ ー シ ア	東南アジア諸国におけるバレーボ ール発達史に関する資料収集及び審 判技術研修のため	7. 7. 4 } 7. 7.17
	経済学部	教授	武井 勲	アメリカ合衆国	カリフォルニア州地震安全委員会 主催会議に出席	7. 7.11 } 7. 7.16
	教育学部	教授	山西 潤 一	連 合 王 国	教育におけるコンピュータ活用 に関する国際会議に参加及び北ア イルランドとの交流プロジェクトに 関する打合せ，資料収集	7. 7.22 } 7. 8. 3
	〃	助教授	本郷 真 紹	中 華 人 民 共 和 国	高句麗関係遺跡調査及び中国日本 史学会，牡丹江師範学院主催東ア ジアに於ける渤海シンポジウムに 出席，研究発表	7. 7.29 } 7. 8.12
	人文学部	助教授	M. A. ムラジアン	アメリカ合衆国	国際関係論研修会出席及び研究資 料収集	7. 7.29 } 7. 8.14

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
海外研修	人文学部	教授	三 寶 政 美	中華人民共和国	近代文学に関する資料収集	7. 7.29 } 7. 8.24
	工学部	教授	黒 田 重 靖	ド イ ツ	第8回新規な芳香族化合物に関する国際会議出席, 発表・討論並びに新しいキノン系化合物の合成に関する資料収集及び研究打合せ	7. 7.29 } 7. 8. 9
	理学部	助教授	細 野 忍	アメリカ合衆国	カラビ・ヤウ多様体とミラー対称性の研究	7. 7.30 } 7.10.30
	人文学部	講師	岸 田 文 隆	大 韓 民 国	近世朝鮮語資料の収集	7. 7.30 } 7. 8.11
	〃	外国人教師	S. E. ローベ	ド イ ツ	ドレーズデン工業大学において「第二次大戦後50年」の研究協議に参加及び資料収集	7. 7.29 } 7. 8. 9
	工学部	助教授	吉 村 敏 章	大 韓 民 国	第4回ヘテロ原子化学国際会議に出席, 発表及び研究打合せ	7. 7.31 } 7. 8. 7

(外) (国) (人) (来) (訪) (者)

氏名 (国籍)	本国における 所属機関・職名	来学目的	本学受入れ先	期間
Kerry Walton (アメリカ合衆国)	ニューヨーク大学 医学部・準教授	研究打合せ	工学部教授 佐々木 和 男	7. 7.16 } 7. 7.18

平成7年度

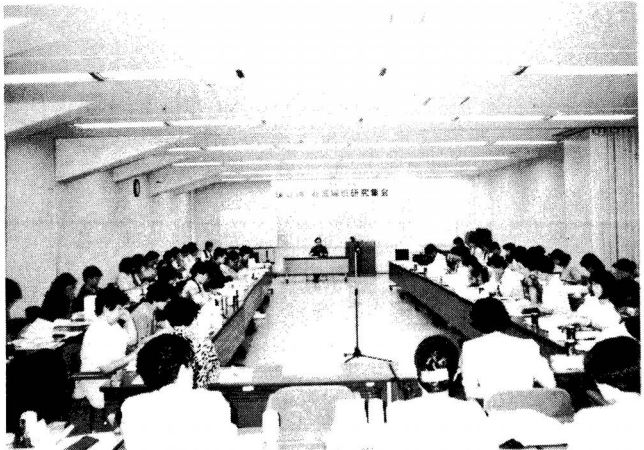
— 全国大学保健管理協会東海・北陸地方部会研究集会を開催 —

平成7年度全国大学保健管理協会東海・北陸地方部会研究集会が本学を当番大学として、去る7月27日（木）、28日（金）の2日間、富山市の「ゴルフアートとやま」において開催された。研究集会には、国公私立の大学・短大・高専70校から109人の参加者があり、全国集会の共通テーマ「健康科学の確立と健康教育の充実」に関連させ、分科会（第1：健康管理の充実と施設の整備、第2：健康管理と健康教育、第3：大学におけるメンタルヘルス教育）及びシンポジウム（大学における健康教育の在り方）において日常業務の体験の中から提供された話題に基づき活発な討議が行われた。

なお、前日の7月26日（水）には、同部会の保健婦・看護婦班の研究集会が60人の参加者により本学黒田講堂において開催され、研究会等で活発な意見が交わされた。



▲ 分科会報告



▲ 保健婦・看護婦班研究集会



▲ 懇親会

平成7年度高等学校と富山大学との入学試験に関する懇談会

高等学校の進路指導担当者との入学試験に関する懇談会が去る7月13日（木）黒田講堂において開催されました。

この懇談会は、本学の入学試験や教育研究などについて理解を得ることを目的として毎年開催されているもので、今年も富山県のほか石川、福井及び岐阜県の高校側担当者と学生部長、工学部長などの本学関係者合わせて95名が出席して行われました。

特に、各学部・学科（課程）の特色及び就職状況等について、各学部から詳細な説明があり、高校側からも本学に対して様々な質問・要望等が寄せられるなど、活発な意見交換が行われ、充実した懇談会となりました。



▲ 本学の説明に熱心に聞き入る高校側担当者

外国人留学生と学部指導教官等との懇談会（経済学部）

経済学部は、7月19日（水）同学部会議室において外国人留学生と学部指導教官等との懇談会を開催しました。

当日は、中国、マレーシア、台湾、韓国の4カ国の外国人留学生と関係教職員等約65名の参加があり、また、県から孫田県民生活課副主幹と地域住民代表として島田五福校下自治振興会長を招待しました。

懇談会では、増田学部長の開催挨拶に続き、島田会長から「五福地域における日本人学生と外国人留学生の受入状況及び地域の環境整備」、孫田副主幹からは「富山県における交通事故状況等」について分かりやすく説明があった後、昼食をとりながら、終始和やかなフリートーキングで歓談しました。

今回の懇談会では、留学生、教職員等から忌憚のない発言が寄せられ、相互理解を更に深めることができ、大変有意義な懇談会となりました。



(社)日本工学教育協会第43回定時総会・年次大会を開催

「知的創造力を触発する工学教育」をテーマに、社団法人日本工学教育協会第43回定時総会・年次大会が、7月25日(火)から27日(木)の3日間にわたり富山県民会館で開催されました。

この大会は、わが国における工学教育の振興と産業の発展に寄与することを目的として、毎年各地区の持ち回りで開催されるもので、今回は北陸信越工学教育協会(会長:富山大学工学部長時澤貢)の担当で、全国の工学に関する高等教育機関、産業界等から250名の参加を得て、終始熱心に研究討議等が展開されました。なお、本大会のプログラムについては、次のとおりです。



第1日目(7月25日)

〈定時総会〉

〈年次大会開会式〉

- ・開会の辞 北陸信越工学教育協会 会長 時 澤 貢(富山大学工学部長)
- ・会長挨拶 (社)日本工学教育協会 会長 三 田 勝 茂(㈱日立製作所会長)
- ・祝 辞 文部大臣 与謝野 馨
- 富山大学長 小 黒 千 足
- 富山県知事 中 沖 豊
- 富山市長 正 橋 正 一

・祝電披露

- ・工学・工業教育功績者表彰式(受賞者 8名)

〈特別講演〉

- ・創造的人材育成のための大学教育の改善について

文部省高等教育局専門教育課長 笠 井 高 芳

- ・工学教育をめぐる環境の変化 工学院大学長 大 橋 秀 雄

〈懇親会〉

第2日目(7月26日)

〈工学・工業に関する研究講演会(70件)〉

第3日目(7月27日)

〈調査研究報告〉

- ・情報技術者の育成に対する産業界の需要動向に関する調査研究

同志社大学工学部 教授 三 森 定 道

- ・リフレッシュ教育に関する産業界と大学等との交流について

千葉工業大学 副学長 岡田厚正

- ・産学人材交流と技術教育

玉川大学工学部 教授 町田輝史

＜特別講演＞

- ・和漢薬と健康維持

荻田バイオサイエンス研究所長

富山医科薬科大学 名誉教授 荻田善一

＜パネル討議＞

- ・創造性教育の在り方を考える

総合司会 富山大学工学部長 時澤 貢

パネリスト 三菱電機(株)技術研修所長 島田 彌

千葉工業大学 教授 鈴木 邁

コーセル(株)代表取締役社長 飴 久 晴

金沢工業大学 教授 久保 猛 志

＜閉会式＞

- ・来年度年次大会開催地の決定

- ・開催地区協会長受諾挨拶

中国四国工学教育協会 会長 井上 幸夫 (中国電力(株)会長)

- ・閉会の辞 北陸信越工学教育協会副会長 庄野 義之 (福井大学工学部長)

職 員 消 息

＜住所変更＞

部 局 名	官 職	氏 名
人 文 学 部	助 教 授	奥 村 譲
人 文 学 部	講 師	佐 藤 裕
教 育 学 部	助 教 授	内 藤 亮 一

訃 報

富山大学教育学部附属小学校教諭 田上修一氏逝去



教育学部附属小学校教諭田上修一氏は、病氣療養中のところ、平成7年7月11日急逝されました。享年38歳。

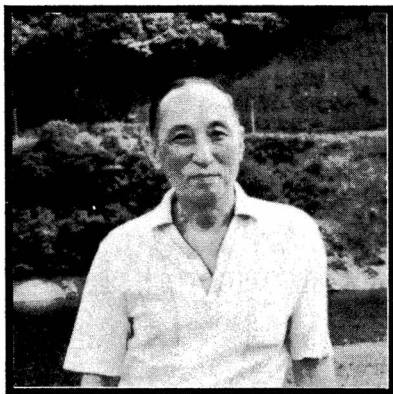
同氏は、昭和54年3月富山大学教育学部小学校教員養成課程を卒業後、同年4月富山市立藤ノ木小学校教諭、同57年4月富山市立堀川南小学校教諭を経て、昭和62年4月から本学教育学部附属小学校教諭に就任されました。以来、附属小学校在職8年有余の間、明朗、快活な人柄で、児童の教育をはじめとして、教育学部教育実習生の指導及び教員養成等に多大な貢献をされました。

特に、専門の算数の授業においては、子供一人一人が自分の力で取組み、自分の力で追究を連続する学習過程の開発に特に力を尽くされ、数多くの優秀な研究発表をすると共に、スポーツ少年活動等の課外活動にも積極的に参加指導されました。

今後更に、附属小学校の充実発展に御尽力いただけるものと期待されていただけに、御急逝が惜しまれてなりません。

ここに、同氏の御冥福をお祈り申し上げ、謹んで哀悼の意を表します。

富山大学名誉教授 位崎敏男氏逝去



本学名誉教授位崎敏男氏が、平成7年7月26日に逝去（享年73歳）されました。

同氏は、昭和20年9月京都帝国大学工学部を卒業後、高岡工業専門学校教務兼講師（嘱託）、同校教授を経て、同26年3月本学助教授工学部に配置換えされ、同36年4月本学教授となり、同63年3月停年により退官されました。同年4月には、本学発展のために尽力した功績により、富山大学名誉教授の称号が授与されました。その後、平成4年1月から放送大学富山ビデオ学習センター長（同6年4月から放送大学富山地域学習センターに改組）に就任されておりましたが、健康上の理由から同7年3月に同職を退任して療養に専念されておりました。

この間、永年にわたり学生の教育と研究に専念され、格調の高い講義と熱心な指導により優秀な人材を社会に送り出し、その多くは工業界の第一線において活躍しております。特に本学においては、附属図書館工学部分館長を1期、評議員を3期、工学部長を2期勤め、本学の管理運営に直接参画し、工学部の永年の懸案であった富山市への移転統合、時代の趨勢に応えた地域共同研究センターの新設等大学及び学部の充実発展に数多くの業績を残されました。

研究面においては、非鉄金属製錬関係を始め電解、鋳造、腐食など極めて多方面にわたって研究を行い、多大の研究成果をあげられました。

他方、学会活動にあっては、日本金属学会評議員、日本鋳業会評議員を歴任し、学会の運営と発展に尽力され、また、学術審議会専門委員、日本学術振興会非鉄冶金第69委員会委員として学術の振興と研究開発の推進に貢献されました。

地域社会においては、財団法人富山技術開発財団副理事長、北陸経済研究所理事、富山県工業技術センター研究推進委員会委員等を歴任され、地域産業の振興に寄与されました。また、生涯学習の時代に即応した放送大学富山ビデオ学習センターの初代センター長として、広く富山県民に大学教育の機会拡大に向けた体制の確立に奔走するとともに、大学教育のための放送の普及発達につとめるなど今日の同センターの基盤を作られました。

ここに同氏の御功績を偲び顕彰するとともに、御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。

主 要 行 事

本 部

- 7月3日 辞令交付
- 4日 第4回自己点検評価委員会教育活動専門委員会
- 6日 第3回教養教育委員会企画専門委員会
第2回施設整備委員会
学生健康保険組合会計監査
- 7日 第3回自己点検評価委員会研究活動等専門委員会
国費外国人留学生の受入れに関する打合せ会
(国立教育会館)
- 8日 北陸地区国立大学体育大会開会式
(金沢大学)
- 10日 人事関係事項の説明聴取(文部省)
- 11日 第39回中部地区学生補導厚生研究会東海・北陸地区研修会(スズキ観月園 静岡)
- 11～14日 北陸地区監督者研修(辰口共同研修センター)
- 12～13日 概算要求ヒアリング(文部省)
平成8年度国立学校特別会計概算要求説明(文部省)
- 13日 人事に関する懇談会(文部省)
第3回教養教育委員会実施専門委員会
高等学校と富山大学との入学試験に関する懇談会
- 17日 第3回自己点検評価委員会管理運営専門委員会
- 18日 第2回カリキュラム等見直し検討小委員会
第5回自己点検評価委員会教育活動専門委員会
官公需確保対策地方推進協議会
(商工会議所 富山)
- 18～27日 平成7年度国立学校事務電算化担当職員A研修(中津川研修センター 岐阜)(名古屋大学)
- 19日 「言語表現科目」特別講義
- 19～20日 平成7年度生涯生活設計セミナー
(高志会館 富山)
- 21日 平成7年度北陸地区国立学校事務電算化協議会(金沢大学)

- 24日 第4回教養教育委員会企画専門委員会
第3回情報処理センター運営委員会
- 25日 日本工業教育協会第43回定時総会・年次大会
(富山県民会館)
第4回自己点検評価委員会研究活動等専門委員会
- 26日 前学期授業終了
- 28日 第4回自己点検評価委員会管理運営専門委員会

人 文 学 部

- 7月5日 教授会
教授会(人事)
眞率会主催ビア・パーティー
(名鉄トヤマホテル)
- 12日 学部特別昇給委員会
人事に関する検討委員会
- 17日 学部予算委員会
- 18日 学部入学者選抜方法検討委員会
- 19日 教授会
教授会(人事)
- 21日 独立大学院研究科(博士課程)に関する人文学部及び経済学部の合同委員会
- 25日 学部将来計画委員会
- 26日 大学院人文科学研究科委員会
教授会
教授会(人事)
学部将来計画委員会
- 27日 学部教務委員会

教 育 学 部

- 7月5日 電話交換システム更新説明会
学部予算委員会
研究科後発教科整備委員会
- 12日 学部教務委員会
人事教授会

- 12日 教授会
 17日 附属幼稚園第1学期終業式
 19日 学部図書委員会
 学部将来計画委員会小委員会
 学部予算委員会
 20日 附属小学校, 附属中学校及び附属養護学校
 第1学期終業式
 20~26日 前学期末試験
 26日 学部将来計画委員会
 27日 学部学生生活委員会
 紀要編集委員会

経済学部

- 7月4日 学部入学方法検討委員会
 大学院経済学研究科委員会小委員会
 (持ち回り)
 学部図書委員会(持ち回り)
 広報委員会(持ち回り)
 5日 学部施設整備委員会
 学部就職指導委員会(持ち回り)
 学部学生生活委員会(持ち回り)
 6日 財務委員会
 7日 移動棚仕様策定委員会
 11日 大学院経済学研究科委員会小委員会
 12日 人事教授会
 大学院経済学研究科委員会
 教授会
 日本海経済研究所所員会議
 17日 学部施設整備委員会
 19日 大学院経済学研究科委員会小委員会
 (持ち回り)
 移動棚仕様策定委員会
 財務委員会(持ち回り)
 平成7年度外国人留学生と学部指導教官等との懇談会
 21日 防火対策委員会(持ち回り)
 独立大学院博士課程設置に伴う合同打合せ会
 24日 広報委員会
 財務委員会, 学部施設整備委員会の合同委員会
 移動棚仕様策定委員会
 25日 学部就職指導委員会
 学部自己点検評価委員会

- 26日 論集委員会
 27日 夜間主コース運営委員会
 31日 学部学生生活委員会

理学部

- 7月3日 理学部案内編纂委員会
 5日 学部教務委員会
 眞率会主催ビア・パーティー
 (名鉄トヤマホテル)
 6日 入試改善委員会
 10日 学部予算委員会
 大学院設置構想推進委員会
 学科長会議
 11日 学部施設委員会
 12日 大学院理学研究科委員会
 教授会
 人事教授会
 学部自己点検評価委員会
 17日 理学部案内編纂委員会
 学科長会議
 21日 理学部案内編纂委員会

工学部

- 7月3日 学部運営委員会
 4日 入学試験検討委員会
 5日 博士後期課程主任会議
 6日 教授会
 研究科委員会
 博士後期課程委員会
 13日 学部教務委員会
 14日 欧文概要編集委員会
 17日 教授会
 19日 学部学生生活委員会
 21日 学部施設整備委員会
 学部安全委員会
 25~27日 日本工学教育協会第43回定時総会・年次大会
 (富山県民会館)
 27日 欧文概要編集委員会
 28日 学部施設整備委員会

附属図書館

- 7月21日 北陸地区国立大学附属図書館会計担当者会議
(金沢大学)
28日 第1回「書香」編集委員会

地域共同研究センター

- 7月5日 地域共同研究センター交流振興会理事会・総
会
13日 第3回大学院生教育講座
19日 地域共同研究センター運営委員会
21日 中部地域産業立地研究会が地域共同研究セン
ターを視察

保健管理センター

- 7月26日 平成7年度全国大学保健管理協会東海・北陸
地方部会保健婦・看護婦班研究集会
(黒田講堂)
27～28日 平成7年度全国大学保健管理協会東海・北陸
地方部会研究集会(ホルファートとやま)

編 集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印刷所 あけぼの企画株式会社
富山市住吉町1丁目5-18
電話 (24) 1755(代)